

すまいるNEWS

2021夏号

フクダハウジング株式会社
新潟県新潟市中央区関新3丁目2番4号
フリーダイヤル：0120-974-699

社長メッセージ

「女性目線」とは何か？



弊社の社員は、たまにお客様から「御社の社長は女性だったんですね」と言われることがあるそうです。現在、弊社における女性社員の割合は、

全体の約4割。営業部門・設計部門はもちろんのこと、建設部門（施工管理）でも女性社員がヘルメットを被り、男性社員と同じように現場業務を遂行してくれています。

最近では、女性のニーズに着目した「女性ならではの」視点が重要視されるようになってきましたが、それは、一昔前までが会社経営はもちろんのこと、商品やサービスの多くが男性主導で作られてきたからという事実の裏返しと考えることもできます。

女性ならではの視点と『商品開発』につなげた事例として、住宅会社の広告があげられます。「女性目線で考えた間取り」「女性目線の新しい生活空間」などのキャッチコピーを最近よく見かけますが、私自身は家づくりについては、必ずしも女性に優位性があるとは思っていません。

一口に女性といっても、価値観やニーズはさまざまです。私が気になるのは、広告の「女性目線」の商品開発に関わっているその女性。いったいどんな人物なのか、普段は

どんな生活をしているのか。独身か既婚か、子育て経験があるか、高齢者と同居したことがあるか、整理整頓は好きか、日常生活の中で起こる問題について、どのような工夫をして解決を図っているか。そのような経験者の話は確かにとても参考になります。

しかし、家づくりにおいては、「家事が好き」「ガーデニングが好き」「洗車が好き」というように、家庭内の役割として〇〇が好きな人の意見を取り入れて、より個性的な空間に作り上げたいというニーズが高まっていますが、私としては、逆に〇〇が嫌いな同居家族はなぜ嫌いなのか、なぜ興味がないのかも聞きたいところ。

なぜなら、私の夫を見ていると、たとえ料理に興味がなくとも、私に万が一のときは嫌でも料理をするときがあるわけで、共有スペースは同居家族の意見も聞いて共通ルールを作っておくべきだと反省しています。家事嫌いな「夫の目線」も大事かも。このように、「女性目線」だけで突っ走ってしまうと、ますます家事に男性が介入しづらくなる可能性があります。

お客様から弊社社員にご指名をいただけるよう、男女問わず全員で「人間力」を磨いていきたいと思っています。

代表取締役社長 木津広美

＼鳥原住宅祭、まもなく開催！／

2021年7月下旬に開催される「鳥原住宅祭」に、フクダハウジングの家も出展します！今回出展するモデルハウスのテーマは、「フクダハウジングとしての新たなデザイン」。耐震等級3の長期優良住宅仕様とし、外装はセメントの質感を生かし一枚として同じものがない無垢の建築素材の外壁（SOLIDO）を採用。杉板張りがアクセントになったかっこいい佇まいです。いつもと一味違うフクダハウジングの家づくりをぜひご覧ください。

***オーナー様を募集しておりますが、お陰様でお客様が決まりました。たくさんのお問合せありがとうございました！**



内観イメージパース



外観イメージパース

開催：2021年7月22日（木・祝）～25日（日）、7月31日（土）～8月1日（日）

時間：10:00～17:00

会場：新潟市西区鳥原字前川原2929

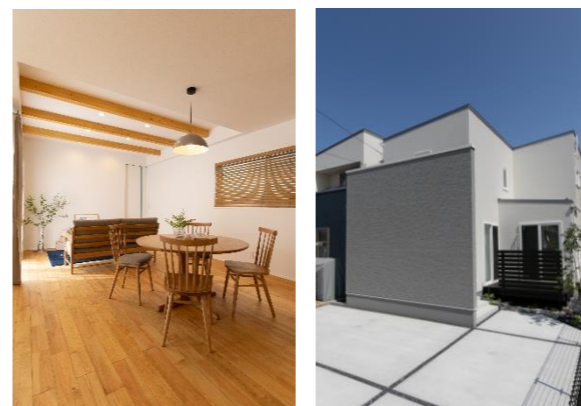
詳細は、ホームページにて公開中！
お問い合わせは、0120-974-699 営業課まで

年内入居可

小針6丁目オープンハウス オーナー様募集中！

6月下旬にグランドオープンした小針6丁目オープンハウス。オープンハウスとして公開後に住んでいただけるオーナー様をただ今募集中です。家=器が高品質なのはもちろん、豊かな暮らし（道具・素材）を通じて家族と永く愛着を持って暮らせる住まいが、当オープンハウスのコンセプト。無垢フローリングが心地よいLDKです。

近隣は、商業施設やスーパーも揃う生活利便性の高いエリアです。住宅のご購入を検討されている方がいらっしゃいましたら、ぜひ当社にご紹介ください！



暮らし方を一新する マンションリノベーション

6月に見学会を開催させていただいたS様邸。たくさんのお客様にご見学いただきました！S様は、ご結婚を機に今まで1人でお住まいだったマンションを夫婦で暮らしやすくリノベーションされました。ダイニングとして使用するカウンターは、キッチンの高さに合わせて高めに造作。水廻りを中心にぐるっと回れる回遊動線が特徴的な、暮らし方を一新するリノベーションです。



◀ Before

以前は、築26年の和室を含めた3LDKのお部屋でした。壁を取っ払い、スケルトンにすることで、水廻りの位置を大幅に変更することが可能に。

After ▶

3LDKからゆとりのある2LDKへ間取りを改修。ヴィンテージテイストがかっこいいお洒落な内装です。ご夫婦こだわりのカウンターは、ハイチェアと合わせてバーカウンターの雰囲気演出。



リフォームフェア2021秋、今年も出展します

今年も、「日報住まいのリフォームフェア2021秋」に出展いたします。お部屋のちょっとした内部改修から、古民家再生やマンションリノベーションなどの大規模な工事まで、幅広くご相談を承ります。ぜひフクダハウジングのブースへお越しください。皆さまのご来場を、スタッフ一同お待ちしております！

開催時期：2021年8月28日（土）、29日（日）

会場：新潟市産業振興センター（新潟市中央区鐘木185-10）

***新型コロナウイルス対策を講じて開催いたします。**

詳細は、0120-974-699 リノベーション営業課まで



わたしの家づくり 

- 弊社スタッフの家づくり、いろいろ聞いてみました。 vol.7 -

連載コラム「わたしの家づくり」。弊社スタッフが実際に建てた家をご紹介します！今回は、マンション管理課の喜志宅です。こだわりポイントや実際に暮らしてみての感想など、いろいろ聞いてみました。



きし ともひろ
喜志 友博

我が家は共働き夫婦+子ども2人の家族構成です。私自身は家にあまりこだわりがなかったのですが、住んでみて良かった点と、もう少しこうしておいた方が良かった点とがありました。皆さまの家づくりの参考になれば幸いです。



間取り

将来設計を殆ど考えず、設計さんが提案した間取りや、親が人生の先輩としてアドバイスしてくれたことを間取りに取り入れたところ、使わない空間が多く発生…。やはり、子供は何人？親と同居することになったら？など、将来起きるであろう変化に対応するために、具体的にイメージして間取りを決めた方が良かったです。

当社の設計も良い提案をすると思いますが、所詮他人。設計が良いと思うもの、お施様が良いと思うものが一致するとは限りません。自分が快適に過ごせる家を具体的にイメージできるのは自分しかないのです。お施様のイメージが固まっていなくて、当社の設計もうまく具現化はできませんので、自分のイメージをしっかり固めて、担当と打合せができると良いですね。

丈夫な基礎

住んで15年が経ちますが、建物外部の目につく劣化は基礎コンクリートに少しクラックが入ったくらいです。当たり前のようですが、手を抜いて建てられた住宅は、築1~3年で多くの問題が発生します。腕の良い職人さん、そして人がいい社員のおかげで、高品質で丈夫な住まいになりました。



Enjoy building your house.



住宅豆知識 - エアコン編 -

暑い夏に欠かせないエアコン。皆さまはどのようにお手入れされていますか？ちょっとした使い方のコツやお手入れで、綺麗な空気を保つことができます。ぜひご自宅で実践しましょう。

毎日のお手入れ

【吹き出し口のお掃除】

カバーを開けずに簡単にできます。吹き出し口・ルーバーについたほこりは、雑巾などでふき取りましょう。もしかしたら意外と汚れているかも？



月1のお手入れ

【フィルターのお掃除】

フィルターは、内部の機械が汚れないようにほこりを受け止めています。そのため、他の部品より汚れやすくなっているため、1か月に1~2回を目安に掃除すると良いでしょう。エアコンの使用頻度によって、フィルター掃除の頻度は変わってきますが、毎日運転する場合は、月2回程掃除しておくとう安心です。



年1のお手入れ

【エアコン内部のお掃除】

フィルターがあっても、内部の部品に汚れは溜まっていくもの。内部の部品も定期的に掃除しましょう。フィルターをこまめに掃除していれば、その分汚れが溜まりにくくなるので、1年以上問題なく使い続けられる可能性があります。



わたしの日常 vol.3



まつおか みき
松岡 美貴

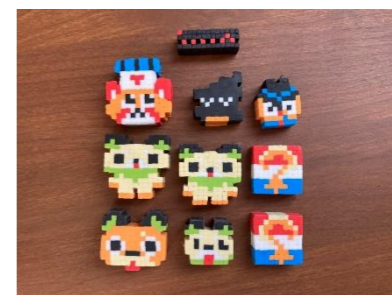
スタッフの休日や趣味のことなど、徒然なるままに。パーソナルな部分をちょこっとご紹介します。あの人の意外な一面が垣間見られるかも?!第3回は、建築部営業課の松岡です。

建築部営業課で事務を担当している松岡と申します。8歳の息子と5歳の娘を持つ母です。

息子の小学校では、定期的に「メディアコントロール週間」を設けています。テレビ・ゲーム・タブレット端末にコントロールされるのではなく、「メディア」をコントロールする力を身につける取り組みです。なかなか大人でも難しいのに…と思いつつも、実施期間中は家族みんなで協力してメディアから離れます。我が家では学校の実施期間を終えても、そのまま続行。というのも、子どもたちのYouTube漬けや時間のルールを守れないことが危機的状況と判断したからです。

メディアから離れると、時間がたっぷり♪最初は、「ひーまー。やることな-い-。」と騒いでいた子供たち。宿題や次の日の準備など、「やるべきこと」を早めに片付け、その後は自由時間！近頃は夕食後、消しゴム作りにハマっています。指先を使った細かい作業、手元が狂うとまた一からやり直し、お互い笑わせて邪魔しあったり、ハラハラドキドキ感も楽しんでいます。

その他に外での活動の楽しさも教えてあげたいと思い、秘かに息子をボーイスカウトに連れて行こうと作戦計画(少し話をしたところ、若干警戒されている)。一筋縄ではいかない子育てにあれこれ試行錯誤しながら、『子どもに世界は広いんだよ、YouTubeの他にも楽しいことがいっぱいあるんだよを教える作戦』(長っ!)に頭をひねる毎日です。



編集後記



すまいるNEWS夏号をお読みいただき、ありがとうございました。コロナ禍で迎える2回目の夏、今年は東京五輪が開催されますね。楽しみな反面、本当に開催して大丈夫なのかと不安が残ります。そして、マスク生活も2年目を迎えます。やはり夏のマスクは息苦しい…!慣れることはなさそうですね。水分をしっかりと摂って、熱中症にならないように皆さまお気を付けてください。

佐藤 愛



フクダハウジング株式会社
〒951-8141 新潟市中央区関新3丁目2番4号

SNSやっています。ぜひご覧ください。
いいね!やフォローお待ちしております。



0120-974-699